

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2004-42614(P2004-42614A)
 【公開日】平成16年2月12日(2004.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報2004-006
 【出願番号】特願2003-133587(P2003-133587)
 【国際特許分類第7版】

B 4 1 M 5/38
 B 4 1 J 2/01
 // B 4 1 M 5/00

【F I】

B 4 1 M 5/26 1 0 1 H
 B 4 1 M 5/26 1 0 1 J
 B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y
 B 4 1 M 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月4日(2004.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】手続補正書

【補正対象項目名】手続補正16

【補正方法】変更

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0117

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0117】

(実施例1、参考例)

図1に示す表面樹脂層1用の樹脂組成物を調整するに当り、フッ素系樹脂として重量平均分子量約45000なるヘキサフルオロプロピレン/エチルビニルエーテル/ベオバ9/アジピン酸モノビニル=50/15/20/15(重量比)共重合体の溶液(「ベオバ9」:ジャパンエポキシレジン社製商品名、分岐脂肪酸のビニルエステル、溶剤はトルエン/n-ブタノール=70/30重量比の混合溶剤、不揮発分約50%)が約100部、エポキシ当量170なるソルビトールポリグリシジルエーテルが約7.4部、ジアザビスクロオクタンが約0.6部、チヌピン900(チバ・スペシャルティ・ケミカルズ社製、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤)が約1部、チヌピン292(チバ・スペシャルティ・ケミカルズ社製、ヒンダードアミン系光安定剤)が約1部である樹脂組成物をポリエステルフィルム上に乾燥膜厚が約20 μ mになる様に塗布し、約140で約10分間加熱乾燥を行い、表面樹脂層1を得た。続いて上記で作製した表面樹脂層1上に、前記した参考例1で合成されたビニル系重合体(a-1)が約100部、硬化剤としてバーノックDN-950(大日本インキ化学工業社製ポリイソシアネートプレポリマー、不揮発分約75%)を約25部、配合した樹脂組成物を乾燥膜厚が約30 μ mになるように塗布し、約140で約10分間乾燥を行い、染料移行防止性着色性樹脂層12を作製した。こうして得られた印刷用積層体の染料移行防止性着色性樹脂層12の表面に、図4に示す通り、アクリル系粘着剤ファインタックSPS-1016(大日本インキ化学工業社製)約100部と架橋剤ファインタックTA-101-K(大日本インキ化学工業社製、粘着剤用

硬化剤キレートタイプ) 約 2 部の混合溶液を塗布し、約 100 で約 5 分間加熱乾燥を行い、厚さ約 35 μm の粘着剤層 5 を形成した。さらに、この粘着剤層 5 に、片面にシリコンコートした厚さ 50 μm の 2 軸延伸ポリエステル離型フィルムのシリコンコートを施した反対面に帯電防止加工をして、かつアニール加工を施した離型フィルム 6 (帝人デュポンフィルム社製、商品名 A - 31、150 で 30 分加熱した時のフィルムの巻き取り方向の収縮率が 0.4%) を貼り合わせ、その後支持フィルムであるポリエステルフィルムを剥離して最終製品とした。